一般社団法人　和食文化国民会議　平成２９年度　全国「和食」連絡会議　議事録

文責　事務局　武田

日　時　：平成２９年5月２６日（金）１４：００～１６：２０
場　所　：秋葉原ＵＤＸカンファレンス　ギャラリーネクスト２（東京都千代田区）
出席者　：出席者３４名　委任状４３名　計７７名
議事進行：全国「和食」連絡会議　副議長　山本真砂美

１．開会：
・１４：００　司会の山本副議長により開会が宣せられた。
２．挨拶：
・全国「和食」連絡会議　議長　服部幸應より挨拶がなされた。
３．決議事項：
・議案　副議長・幹事選任の件
・事務局より議決権総数１３６に対し出席３４名、委任状４３通計７７名で定足数を満たしていることが報告された。
・服部議長より以下の候補者の紹介、および新任の候補者、曽我真由美氏、窪　雅寿美氏より自己紹介があった後、採決がなされ満場一致で候補者全員が選任された。

役職	候補者指名（敬称略）	
副議長	山本　真砂美	㈱紀文食品　顧問
	民輪　めぐみ	料理王国　編集長
幹事	上野　正人	㈱読売エージェンシー第２営業局営業５部部長
	窪　雅寿美　（新任）	㈱ドゥ・ハウス FG マーケティング事業部
	新保　正	㈱Smile Link Partners　代表取締役
	曽我　真由美（新任）	和ごころ食卓　代表
	平出　淑恵	㈱コーポ幸　代表取締役
	溝上　宏	㈱NKB 取締役

４．来賓紹介・挨拶
・山本副議長より来賓、農林水産省食料産業局食文化・市場開拓課　和食室長西　経子氏、同課長補佐　妹尾宏明氏、同係長　門谷秋子氏の紹介があり、西室長より来賓挨拶がなされた。
５．平成２８年度（２０１６年度）事業報告
・山本副議長より全体概要の報告がなされた後、新保幹事より連絡会議 Facebook 利用状況の報告、上野幹事より「１２０４和食セッション」実施報告、新保幹事より地区交流会の実施報告がそれぞれなされた。
６．平成２９年度（２０１７年度）事業計画説明
・山本副議長より全体概要、各事業の関係につき説明がなされた。

・新保幹事より Facebook につき現状利用者数約１,８００名を２０１７年度では３,０００名を目指し、併せて内容充実を図る旨、および昨年質問のあったＳＮＳについては Facebook と親和性のあるインスタグラムから導入検討する旨の説明がなされた。
・上野幹事より本年度の「１２０４和食セッション」は「正月」をテーマに、１２月４日（金)、昨年と同じ JA 共済カンファレンスで開催するとの説明がなされた。
・新保幹事より地区交流会について、昨年立ち上げた静岡県磐田市に加え新たに 2 か所での実施を計画している旨の説明がなされた。
・溝上幹事より本年度新規事業である「和食アンバサダー」制度について目的、および特典を付与したカードの発行等仕組みの説明がなされた。
・最後に山本副議長より全体スケジュール、および事業予算の説明がなされ、事業計画を締めくくった。
・山本副議長が会場に質問・意見を求め、和食室長西氏より連絡会議事業への期待、および食育活動への農林水産省助成制度の説明がなされた。また会員の江戸ソバリエ協会会長ほし氏より同協会の活動紹介がなされた。

７．鼎談　～料理人を目指す若い人に「和食」をどう伝えていくか～
・服部幸應氏（議長　学校法人服部学園理事長)、民輪めぐみ氏（副議長　料理王国編集長)、溝上宏氏（幹事　㈱NKB 取締役）による鼎談が約１時間にわたって行われた。
・料理人、特に和食の料理人が不足している状況から話を始め、文化としての「食」、フランスにおける「食」振興の事例に触れ、更に海外における日本料理店の状況に話がおよんだ。
・料理人を目指す若い人への支援策である「和食アンバサダー」制度の内容を確認した後、直近の話題としてオリンピック・パラリンピックの東京開催に向けて「食」素材のＧＡＰ、ＪＧＡＰアドバンス等適正農業規範適合への課題、関連して若い料理人と若い素材生産者の連携の必要性が述べられ、鼎談を終了した。

８．閉会
・所定の議案、報告等を終え、１６：２０に山本副議長が閉会を宣し、全国「和食」連絡会議を終了した。

以上